



■ ＊都市デザイン計画 《未策定》

4 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の評価

めざすべきまちの姿

わたしたちは、逗子が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。

◇市の評価

総括コメント	評価
・平成29年度に安全安心アクションプランが策定されたため、5つの個別計画のうち、策定されている計画は2つである。 ・商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画については、前年度A評価だったところからC評価へと評価が下がった。評価が下がった理由は、商工業振興事業、小坪海浜地域活性化事業が予定より遅延したためである。 ・歩行者と自転車を優先するまちアクションプランについて、自己評価はA評価であったが、審議会における評価はB評価であった。 ・総括としては、「めざすべきまちの姿」に向けた平成29年度の実践は、ある程度達成できたといえる。しかしながら、一部事業においては個別事情を抱えているため、安全で安心な、快適な暮らしを支えるまちをめざすに当たっては、各々の事情に合わせて取り組みを推進する必要がある。	Ⓑ

◇基幹計画に位置づけられる個別計画の総括評価結果

1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち	2 災害に強く、犯罪のない安全なまち	3 歩行者と自転車を優先するまち	4 都市機能の整った快適なまち	5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち
＊住環境形成計画 (未策定)	安全安心アクションプラン	歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン	＊公共施設等 総合管理計画(未策定)	＊商工業振興計画・小坪海浜 地域活性化計画(未策定)
B	B	A (B)	B	C

◇審議会・懇話会等の意見／【Check】の観点からの意見等

＜審議会・懇話会等総括意見＞	審議会等が妥当と考える評価区分	Ⓑ
・評価については妥当と考える。 ・基幹計画の評価は、個別計画の評価に基づいて行われるのが本来である。未策定の個別計画について早期策定を望む。		

＜各個別計画の評価状況についての意見＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜計画の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

・歩行者と自転車を優先するまちアクションプランについて、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすに当たっては、自転車がどのような利用をされているかという実態を把握し、自転車の乗り方等ルールやマナーの一層の周知・啓発を図られたい。

＜基幹計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

・計画の策定に当たっては、過去の歴史を守るというディフェンスの計画ではなく、新しい価値を創造し、逗子市というブランド構築に向けた積極的なビジョンを打ち出すべきである。



■ ＊市民主権プラン 《未策定》

5 新しい地域の姿を示す市民主権のまち

理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の評価

めざすべきまちの姿
市民は、市政の主権者であり、まちづくりに参加する権利を有します。
わたしたちは、主権者である市民として、互いに尊重し合いながら、その人のもつ個性や能力を十分に発揮できる地域社会をつくっていきます。また、グローバル化した社会の中で、地域や国を越えて、世界に貢献していきます。
わたしたちは、地域社会、さらには世界の一員として主体的に行動する市民主権のまちをつくりまします。

◇市の評価

総括コメント	評価
・4つの個別計画のうち、策定されている計画は1つである。 ・市民自治推進計画については、前年度B評価だったところからC評価へと評価が下がった。評価が下がった理由は、(仮称)自治基本条例検討事業について、目標達成まで時間を要する状況であること、また、地域自治システム推進事業についても目標達成が困難であることが挙げられる。 ・情報化推進計画、国際交流推進計画については、前年度B評価だったところからA評価へと評価が上がった。情報化推進計画において、評価が上がった理由は、情報化推進事業において、計画通りに順次情報連携が実施され、事業が順調に進捗しているためである。また、国際交流推進計画においては、非核平和推進事業においてイベントが開催され、目標に近づけることができたためである。 ・総括としては、「めざすべきまちの姿」に向けた平成29年度の取組みは、ある程度達成できたといえるが、市民主権のまちをめざすに当たっては、市民自治推進計画に位置付けられている事業の推進は不可欠であり、目標達成に向けて着実かつ戦略的に取り組みを進めなければならない。	(B)

◇基幹計画に位置づけられる個別計画の総括評価結果

1 市民自治のまち	2 誰もが尊重され、自由で平等なまち	3 情報化で、よりよく暮らせるまち	4 世界とつながり、平和に貢献するまち	
* 市民自治推進計画 (未策定)	男女共同参画プラン	* 情報化推進計画 (未策定)	* 国際交流推進計画 (未策定)	
C	B	A	A	

◇審議会・懇話会等の意見／【Check】の観点からの意見等

<審議会・懇話会等総括意見>	審議会等が妥当と考える評価区分	(B)
・評価については妥当と考える。 ・基幹計画の評価は、個別計画の評価に基づいて行われるのが本来である。未策定の個別計画について早期策定を望む。		

<各個別計画の評価状況についての意見>

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜計画の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

特になし

＜基幹計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし